

発見!

# 牛久のお宝

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300

## 第9回 牛久シャトーの軒瓦 のきがわら



軒瓦  
(幅約28cm)



明治40年ごろの旧醗酵室

シャトーカミヤ旧醸造場施設の災害復旧工事の際に、旧醗酵室(現神谷傳兵衛記念館)北側で軒瓦が発見されました。現在、旧醗酵室の屋根は鉄板葺きですが、開業当初は瓦葺きだったことが古い写真からわかっており、そのころの軒瓦と思われます。瓦には「製造 東京本所 横川町 佐藤甚兵衛」の刻印が残されています。明治26年に神谷酒造第二工場が東京本所区中ノ郷瓦町に設置されたという



軒瓦の刻印

記録があり、明治34年の醸造場建設の際に、工場近くにあった佐藤甚兵衛の瓦製作所に製造を依頼した可能性が考えられます。また佐藤甚兵衛の瓦製作所は、明治政府初のお雇い外国人であるリチャード・プラントンが計画した、横浜居留地の下水道整備で使用された陶製下水管を製造していたことでも知られています。

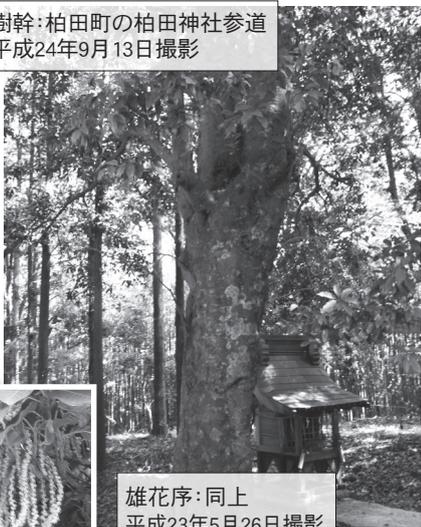
◆今回紹介した軒瓦は、中央生涯学習センター展示ホールで展示中

# 里山の樹木

問 都市計画課

☎内線2524

樹幹: 柏田町の柏田神社参道  
平成24年9月13日撮影



雄花序: 同上  
平成23年5月26日撮影

第32回

## アカガシ

ブナ科コナラ属の常緑広葉樹の高木。県内では山地から低地に分布し、市内では牛久沼東斜面林や屋敷林などに点在しています。樹皮はふつう緑灰黒色で、古木になるとまだら模様になりはげ落ちます。若枝には褐色の軟

毛が密生しています。葉は互生し、葉身は長楕円形または楕円形、長さ7〜13cm、縁は全縁。開花期は5月、雄花序は新枝の下部に数個下垂し、長さ6〜12cm、褐色の軟毛が密生。雌花序は新枝の上部の葉腋に直立し、5〜6個の花を穂状につけます。堅果は翌年秋に熟し、径1〜1.3cmです。名前は材が淡紅褐色で、赤味が強いことに由来します。

※牛久の里山樹木ハンドブック57ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森(☎874-6600)まで。  
【資料提供】NPO法人うしく里山会(文章: 平塚芳雄、写真: 樹幹)戸塚昌宏、【雄花序】渡辺泰)

## 文芸さろん | 葉月 |

稀勢の里負けるな頑張れまったなし	長澤さん
あじさいや紫が好き白が好き	空
暑い夏友と温泉汗流す	月田さん
月出里野の夫婦狸は溝に入る	
夜い闇明けて踊り細やか	木村さん
争いのいやされしいま青田かな	涼
海鳴り遠く心太すするか	一朵

<次回募集テーマは「秋」>

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など

【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしく文芸さろん」係 FAX: 873-2512

☐ kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp

【記載事項】作品、氏名、電話番号

匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)



「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)